

はまなす

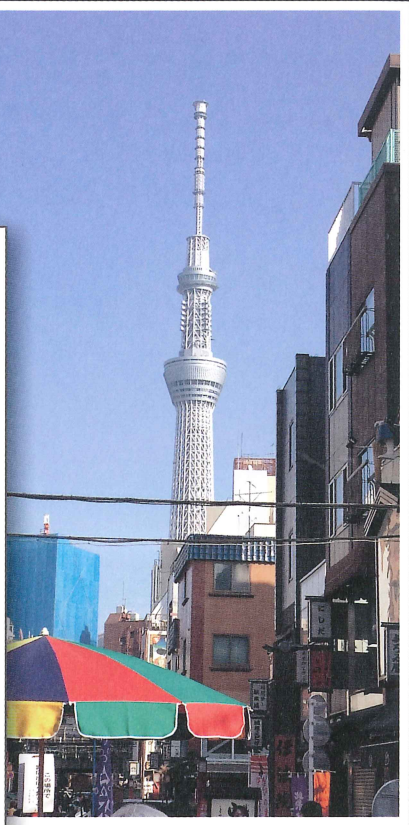
第31号

発行者／社会福祉法人ときわの杜
障害者支援施設はまなす荘
〒319-1722
茨城県北茨城市関本町福田 1873-1
TEL 0293-46-0636
FAX 0293-46-3940
発行日／平成 26年 3月 1日

念願の

和気
あいあい

スカイツリー観光



地域貢献する施設をめざそう



はまなす荘施設長

岸 秀明

梅花も見ごろで三寒四温の時候となりました。まもなく桜の季節ですね。

しかし、2月10日は記録的な豪雪で、停電や交通渋滞を引き起こしました。散策も難しく、利用者の皆さまには不自由をおかけしました。折しも、インフルエンザ対策の外出制限からストレスも多かったと思います。

皆様の施設運営へのご協力に深く感謝します。

さて、2014年はどんな年になるでしょうか？2月の大雪は予想外でしたが、ソチ冬季オリンピックのメダル8個は立派でした。4月には消費税が8%となります。6月にはブラジルでワールドカップサッカーが開会します。

一方、障害福祉の動向では、昨年施行された障害者総合支援法のうち、障害者支援区分の創設などが4月から実施されます。個人の自立支援から社会全体で支援する

という総合支援の流れは、国の方針が「共生社会の実現」に向いているといえます。つまり、心身に障害がある人も、自立を基本として地域で健常者と同様の日常生活ができる環境を整え、個人の尊厳と人生の満足が確保されることを目指しています。

この中で、障害者支援施設も地域福祉に立脚した施設運営が求められてくることになります。幸いはまなす荘は工賃作業を通じて地域との結び付きが得られやすい強みを持っています。これを生かし、地域貢献することが重要であると考えます。本年も皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。





浅草寺



スカイツリー展望室から風景を望む

今回の旅行は、念願の東京スカイツリーに行くことができ、利用者に満足できる旅行を提供できたと感じました。

展望台に上った利用者からは、今まで見た事のない景色やあまりの高さに驚く表情がたくさん見られました。次に浅草寺を観光し、東京下町の風情を楽しみました。その後は、宿泊先の「ザ・プリンスパークタワー東京」で美味しい食事を堪能し、パーク内にある東京タワーを眺めながら夢のような一夜を過ごしました。二日目は、江戸東京博物館で東京の成り立ち・歴史を学び、その後一路はまなす荘へと旅行は終了しました。

一泊旅行 東京方面

十一月五日から六日にかけて、利用者一泊旅行が実施されました。今回の旅行先は、昨年からの利用者の強い希望もあり「東京方面観光」となりました。

まず一日目は、日本最大の電波塔「東京スカイツリー」を観光しました。

レクリ エーション

一月十八日に、法人体育館でレクリエーション大会が行われました。寒い中、大勢の利用者の参加を得て、○×クイズ大会・紅白の玉入れ競技を行ない時間を過ごしました。

クイズ大会は全員が参加し全十問のクイズに答えてもらうもので、一問ごとに不正解者は抜けていき最終問題終了時点で残っている者が優勝となります。玉入れ競技は利用者を四チームに分けて、リーグ戦を行ない勝率の高いチームが優勝となります。特に玉入れ競技は各チーム共三試合を行うもので、介助の担当職員はこぼれた玉を拾うことに翻弄され全員くたくたになるほどでした。

寒い中でしたが、利用者の皆さんには頑張っていたいただき、怪我を負う者もなく少しは楽しんでいただけたのではないかと感じました。



紅白玉入れ競技

忘年会

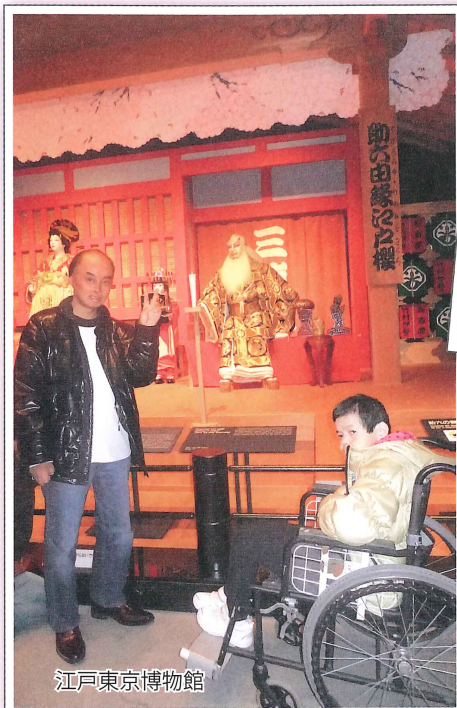
年末恒例の利用者の忘年会が行われ、サプライズゲストのミニーちゃんがエレクトロカルパレード風に登場いたしました。

皆と記念撮影を行い引っ張りだこのミニーちゃん。利用者の皆さんにプレゼントを贈り、お酒や美味しい食事に満足していただき、楽しいひと時を過ごすことができましたようです。

職員もこの一大イベントに際し、余興やプログラムなど、毎年、頭を悩める訳ですが、利用者から「楽しかった」「おもしろかった」「ありがとう」との声をいただいた時が一番ホッとする瞬間です。次回もお楽しみに。



ミニーちゃん登場



江戸東京博物館



ザ・プリンスパークタワー
東京での夕食風景



スカイツリーで
説明を受ける



東京タワーの夜景



絵手紙講座

寺子屋 新年茶会・絵手紙

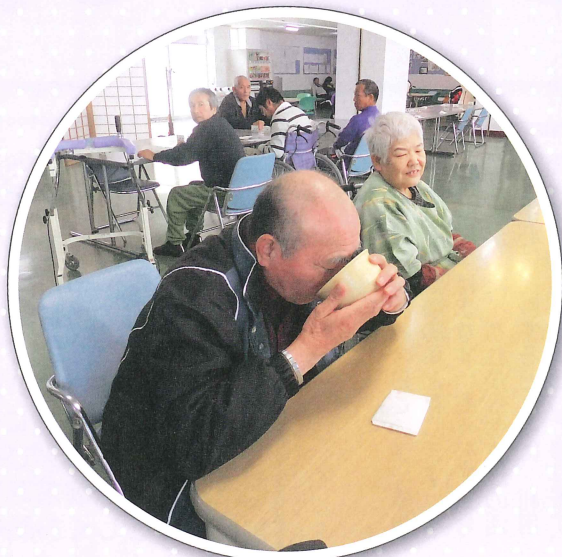
今年度より施設長の発案で、「寺子屋」と命名された日中活動を行っています。

内容は多岐に渡り、映画鑑賞会・新年茶会・芸術鑑賞・絵手紙講座・うたの会等を行ってきま

した。

映画鑑賞会は市のライブラリーの協力を得て、本格的なスクリーン・音響装置を設置して行なうものです。今のところは昭和の邦画を中心に、シリアスなものから喜劇・人情ものまでを放映しましたが、利用者の皆さんからは毎回「おもしろかった」「良かった」等の声がたくさん聞かれました。

絵手紙講座・うたの会は専門の講師を施設に招いて、初心者でも楽しめるよう懇切丁寧な指導を受けました。また、完成した作品は施設内のホールに展示し、参



新年茶会

加しなかった利用者も鑑賞できるよう配慮しています。

新年茶会は施設長自ら腕を振るい、利用者の皆さんへお抹茶と一緒に花びら餅を楽しんでもらいました。また、味覚だけでなく視覚的にも楽しめるよう、様々な工夫をこらして調度品等も準備・設置して本格的な茶会となりました。

芸術鑑賞は利用者が五浦美術館へ直に足を運び行ないました。普段はテレビや写真等でしか目にしたことのない仏像を目の当たりにして、様々な感想を抱いて眺める利用者の顔がみられました。

以上、初の試みばかりでしたが、今後の活動内容に利用者ともども期待し楽しんでいきたいと思えます。

入所者紹介

● 馬上 哲治さん
 (平成 25 年 7 月入所)
 趣味：ラジオを聴くこと。
 一言：みんなと仲良く過ごしたい。

手洗いについて

冬場のノロウィルス・インフルエンザ等の感染症予防の一環として、手洗いの重要性について頻りに語られることが多いですが、夏場も食中毒予防の一環として手洗いをする事で付着した病原微生物を洗い落とす有効な手段となります。

つまり、手を洗う行為は一年を通して生活していく上で、とても大切に自分の身を守る有効な防御手段となりますので季節に関わらず励行して下さい。



「マウントあかね収穫祭」

および「きたとく祭」

地域の皆様へ施設の認知度向上および新規発売した「杜のみそ」の拡販のため、両祭りへ参加しました。

「マウントあかね収穫祭」は十月二十日に実施され、当施設からは味噌・野菜・味噌の味を皆さんに知ってもらうための豚汁の販売を行ないましたが、当日はあいにく雨天のため思ったような販売はできませんでした。

「きたとく祭」は十一月九日に実施され、当施設を利用している卒業生の協力を得て、味噌・野菜等の出品物を完売することができました。

今後も同様の行事に参加して地域の認知度を上げ、さらに当施設の事業に対する理解度を上げていきたいと思います。



行 事 予 定

3月

- 観梅 (水戸/偕楽園)
- 荘外買物
- 地域環境美化活動 (大津港駅)

5月

- ゴールデンウィーク連休
- 荘外買物
- 地域環境美化活動 (大津港駅)

7月

- 釣り大会
- 荘外買物
- 地域環境美化活動 (大津港駅)

4月

- 花見
- 荘外買物
- 地域環境美化活動 (大津港駅)

6月

- レクリエーション大会
- 荘外買物
- 地域環境美化活動 (大津港駅)



ボランティア募集のお知らせ

はまなす荘では、休日や作業終了後等、利用者の余暇活動におけるボランティアを募集しております。利用者の中には、釣りや囲碁・将棋、園芸などの趣味を持っていても、なかなか思うような活動が出来ずにいる方がいます。

利用者と一緒に楽しむ事を目的とした、「気軽なボランティア」です。

皆さんの御来荘を心よりお待ちしております。ご協力よろしくお願ひします。

詳しくは
はまなす荘
 まで
 TEL
 (0293)
46-0636

あ と が き

花便りも伝わる今日この頃、皆様には益々ご健勝の事と存じます。広報誌「はまなす」も今号で31号となりました。これからも施設の活動を中心に掲載するとともに、利用者皆様の笑顔をお届けして参ります。今後ともよろしくお願ひ致します。